

登録コード	HM900200	開講年度	2026						
授業題目	生涯保健学研究法特論				担当教員	西澤 公美 他			
英文授業名	Research Methods in Lifespan Health Sciences				副担当	野見山 哲生・伊澤 淳・中込 さと子・横川 吉晴・松田 和之・百瀬 公人			
単位数	2	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	土曜・3時限 土曜・4時限		対象学生	医学系専攻 / 1年次	
講義室	保健学科 2 1 2 講義室		授業形態	講義	備考	選択必修科目			
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)			
	2026HM保健学分野別, 2025HM保健学分野別, 2024HM保健学分野別, 2023HM保健学分野別								
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					様々なライフステージにおける対象者が抱える健康問題に対して、医療者の臨床能力、施設の設備・環境、対象者の意向や価値観に加え、「質の高い臨床研究の結果（エビデンス）」も含めて総合的に臨床判断を進めていく「根拠に基づく実践（Evidence-based Practice, EBP）」の概念と具体的な実践方法を理解する。			
(2)詳細/Detailed information	生涯保健学, 医療生命科学, 医学の各分野における根拠に基づいた実践（Evidence-based Practice, EBP）の概要と実際, 臨床疫学の実践について学修します。また, 人のライフステージに応じた母子保健学, 成人保健学, 老年保健学の各領域における具体的な事例を取り上げ, 生涯保健学・医療生命科学・医学分野における研究法についての幅広い概念と具体的な方法論について学修します。そして, これらの課程を通して, ライフステージを俯瞰した保健学のあり方を創造的に探求するとともに, 各分野における研究の位置づけと独自性ならびに関連分野との研究連携を視座に据えて, 課題に適した研究法を選択できる能力を修得します。								
(3)授業の概要/Overview of course	本授業は, 母子保健学, 成人保健学, 老年保健学という人のライフステージに応じた保健学研究の実際と, 保健学研究と医療生命科学や医学との関連性について理解を深めることを目標としています。 なお本授業は, 社会人学生を含めた全ての受講生に平等な教育効果を提供することを目的として, オンラインもしくはオンデマンドによる「遠隔授業」として展開します。 本授業は, 担当教員の医療機関における医療専門職者としての実務経験と教育・研究機関における学術活動の経験を活かして講義を行います。								
(4)授業計画/Course plan	第 1 ・ 2 回 （5月30日 3・4時限）生涯保健学領域におけるEBPの概要と実践方法 （西澤公美） 第 3 回（6月13日 3時限）EBPを実践するための臨床疫学の実際 （野見山哲生） 第 4 回（6月13日 4時限）成人保健学領域の研究法の概要と実際 （百瀬公人） 第 5 回（6月20日 3時限）母子保健学（リプロダクティブヘルス）領域の研究法の概要と実際 （中込さと子） 第 6 回（6月20日 4時限）小児医学領域における研究法の実際 （中山佳子） 第 7 回（6月27日 3時限）医療生命科学領域の研究法の概要と実際 （松田和之）（オンデマンド） 第 8 回（6月27日 4時限）老年保健学領域の研究法の概要と実際 （横川吉晴）（オンデマンド） 第 9 回（7月11日 3時限）脳心血管病の現状と課題：研究法の概要と実際 （伊澤 淳） 第10回（7月11日 4時限）精神医学領域における研究法の実際 （鷲塚伸介） 第 1 1 ・ 1 2 回 （7月18日 3・4時限）プレゼンテーション準備 （西澤公美） 第 1 3 ・ 1 4 回 （7月25日 3・4時限）生涯保健学領域におけるEBP演習： パワーポイントを用いたEBPプレゼンテーション （西澤公美）								
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	7月25日に行うEBPプレゼンテーション資料の内容に基づいて総合的に評価します。 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。								

(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	本特論は，社会人を中心とした受講生の皆さんの利便性の観点から，Zoomを用いたオンライン講義，もしくは，オンデマンド動画の配信に基づいて授業を展開する予定です。なお，具体的な授業形態については，各担当教員からeALPSの方に説明が行われますので，事前にそちらを確認するようにしてください。 また，7月25日には，各自が設定した臨床的疑問（PICO）に関するEBPステップの1～5までの展開をパワーポイントスライドを用いて発表していただく予定ですが，受講者が多数の場合には，発表会は行わず発表資料を期日までにeALPSに提出していただくことといたします。このことについては，5月30日の授業の際にお伝えするようにします。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋ 自己学習時間60時間（4時間×15回）＝ 90時間 以上の自己学習時間を考慮して，事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談への対応：保健学科理学療法学専攻 西澤 公美 hitnishi@shinshu-u.ac.jp （保健学科南校舎4階 西澤公美研究室）
(8)授業の形式/Course format	講義，演習を中心として展開します。